

# 新しい付加退職金支給ルール

参考 1

- 各年度の前々年度の決算における累積剰余金の額の5,400億円に対する不足額（累積剰余金が5,400億円を超過している場合は0とする）を、各年度の前年度から2027（令和9）年度までの残存年数で除した値を各年度における目標額（単年度目標額）とする。
- 各年度の前年度の利益金の半額を各年度の付加退職金に充てるが、利益金が単年度目標額の2倍を下回る場合は、単年度目標額を優先的に剰余金の積立てに充てる。また、付加退職金に充てる額の上限を「前々年度の決算における累積剰余金の額×0.01」とする（0.01は予定運用利回り）。

## ◆ 単年度目標額の計算式

各年度の単年度目標額 =

$$\frac{5,400\text{億円} - \text{前々年度剰余金}}{2027\text{年度} - \text{前年度}} \\ (\text{2027年度までの残存年数})$$

※分子がマイナスの場合はゼロ

◆ 前年度利益見込額の2分の1を付加退職金に充てる

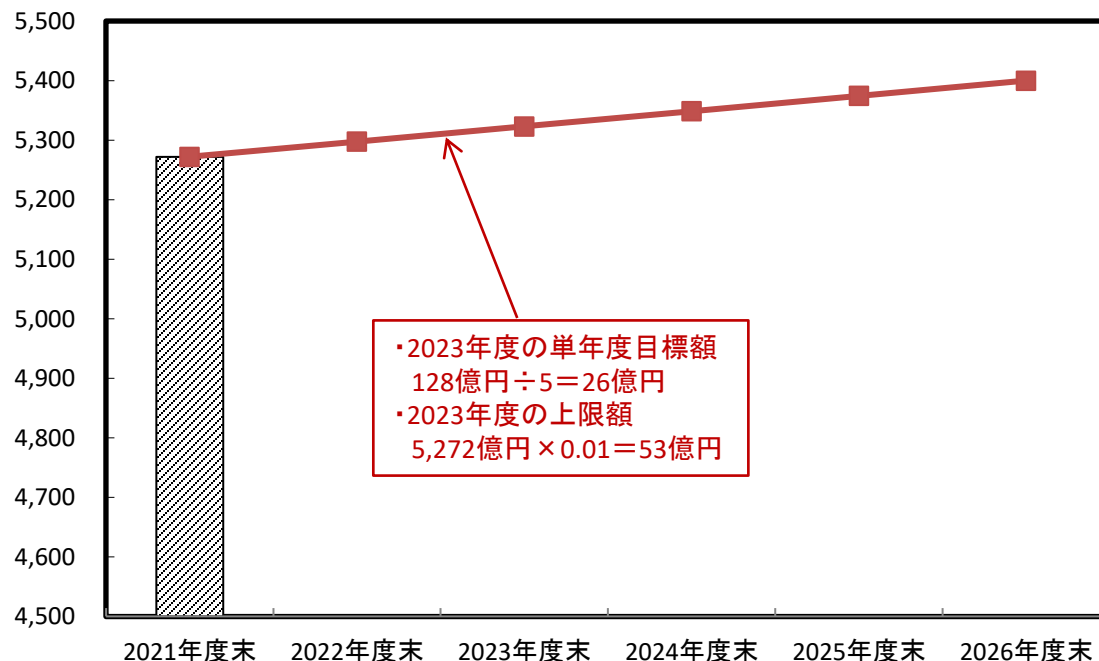
◆ ただし、単年度目標額は優先して剰余の積立てに充て、付加退職金に充てる額の上限は剰余金×0.01とする

■ … 付加退職金に充てる部分  
■ … 剰余の積立てに充てる部分

前年度利益見込額

■ 単年度目標額 × 2  
■ 単年度目標額

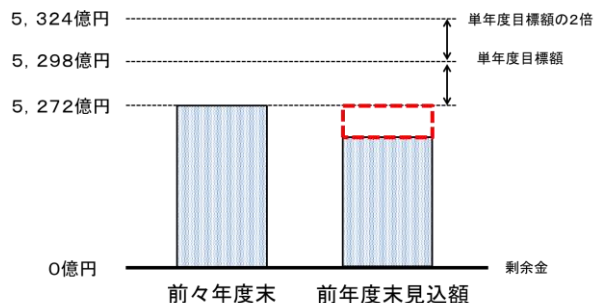
(億円) 累積剰余金の実績、単年度目標額及び上限額について



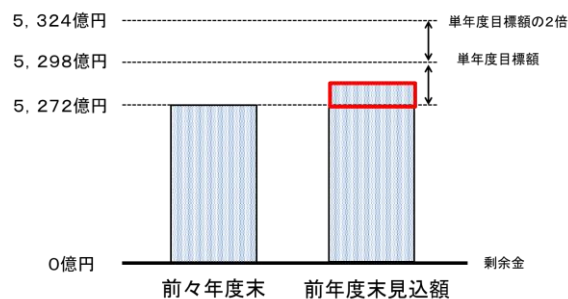
# 付加退職金支給のイメージ（令和5年度の場合）

- ・単年度目標額：(5,400億円 - 5,272億円) ÷ (2027年度 - 2022年度) = 128億円 ÷ 5 = 26億円
- ・上限額：5,272億円 × 0.01 = 53億円

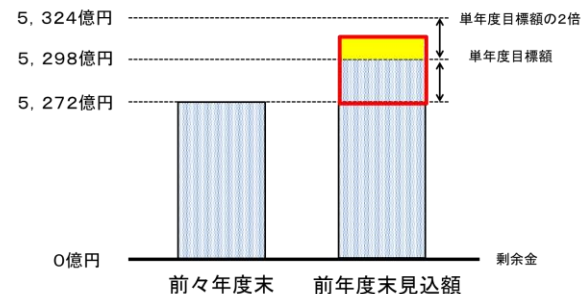
1. 「利益見込額 < 0億円」の場合



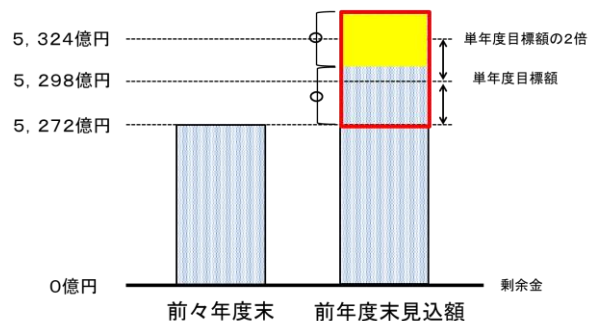
2. 「0億円 ≤ 利益見込額 ≤ 26億円」の場合



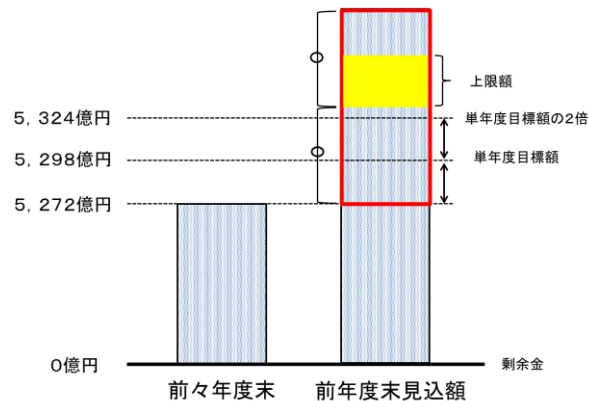
3. 「26億円 < 利益見込額 ≤ 52億円」の場合



4. 「52億円 < 利益見込額 ≤ 106億円」の場合



5. 「106億円 < 利益見込額」の場合



※黄色部分が付加退職金として支給される